

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度 高等部 数学
		興味・関心を大切にした授業展開
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	距離・速さと時間
	授業の目標	・距離、速さと時間の関係性について理解する。(知識・理解) ・公式を確認しながら単純な計算の解を求めることができる。(思考・判断・表現) ・最後まで学習に取り組むことができる。(関心・意欲・態度)
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他()
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	■特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 第2学年 7人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input checked="" type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input checked="" type="checkbox"/> その他
	子どもの課題(特性・ニーズ)	<input checked="" type="checkbox"/> 見る <input checked="" type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input checked="" type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 <input checked="" type="checkbox"/> 多動性-衝動性 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input checked="" type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ・教師の話を長く聞くことが難しい。 ・集中力が持続せず、最後まで学習に取り組むことが難しい。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	iPad(速さの計算、距離や時間、速さの関係についてのアプリケーション)
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) iPadのアプリケーションを活用することで、生徒が興味・関心を持ち、教師の説明を聞くことができる。
授業に授お業け展る開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味・関心を引き出すことをねらいとしていたため、導入のタイミングでiPadを活用した。 ・視覚的な支援を行ったことにより、生徒の注目を集めることができた。教師の説明や指示を落ち着いて聞くことができたようになった。 ・公式や計算方法を全体で確認し、生徒とやりとりをしながら、授業を進めることができた。 ・iPadを活用した後に、補完学習としてプリント学習に取り組んだ。公式や計算の方法を忘れてしまった生徒に、その都度、iPadのアプリケーションを見せることで、確認することができた。 
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・iPadを活用し、視覚的な支援を行ったことにより、生徒の興味・関心を引き出すことができた。 ・導入時、落ち着いて学習に取り組むことができると、最後まで集中力が持続する姿が見られた。 ・導入の大切さを実感するとともに、生徒の興味・関心を引き出す教材・教具の工夫の必要性を感じるきっかけとなった。 ・全体で公式や計算の方法を説明したり、確認したりする場面を設けることにもつながった。